

想定した品目

にがうり半促成

1. 技術体系の特徴

品目	家族労働力	品目・栽培型及び規模		経営・技術の特徴	
にがうり半促成	人 2	にがうり半促成		a 30	1. 無加温ハウス栽培 2. 適正灌水、保温により生産安定を図る 3. 誘引・整枝を徹底し草勢維持に努める 4. 購入苗利用
		経営耕地面積	水田 130 畑 20		
経営目標		1 農業総収入 5,325 千円	4 1日当たり農業所得 14,014 円		
		2 農業経営費 3,239 千円	5 1人当たり年間労働時間 596 時間		
		3 農業所得 2,086 千円			

2. 資本装備と減価償却費

	種類・規模	数量	型式・構造・能力	所 有 割 合	取得価格	耐用年数	年間償却額
建物・施設	ビニールハウス (ハウス本体工事、二重カーテン、換気扇、灌水チューブ、電気工事込み)	5	連棟標準型(AP): 3,000㎡	1	千円 20,690	年 8	千円 1,293
	作業及び収納舎	1	軽量鉄骨 60㎡	1	3,240	24	135
	農機具倉庫	1	軽量鉄骨 20㎡	1	1,080	24	45
	計				25,010		1,473
農機具	トラクター	1	20PS	1	1,817	7	130
	動力噴霧機	1	可搬式(5MPa)	1	213	7	15
	管理機	1	6.2PS	1	200	7	14
	トラック	1	軽トラック	1	917	4	115
	計				3,146		274

3. 技術体系(にがうり半促成)

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
(本ほ) 耕うん 整地	耕起整地	12月	トラクター	1	4	4		
保温施設 組立て	ビニール 張り	1月上旬	トラック	4	8	32	ビニール一式	
施肥	基肥施用	1月下旬	トラクター 管理機	1	4	4	堆肥 2t N 15kg P ₂ O ₅ 15kg K ₂ O 15kg	基肥 65%、追肥 35% 収穫が始まる頃から月2~3回 間隔で追肥する (目安) N成分 2~3kg/1回
定植準備	うね立て 配管 マルチ 中トンネル	1月下旬	管理機	2 2 2 2	2 2 2 5	4 4 4 10	ビニール、ホリフィルム 幅2.7m、長さ400m トンネル支柱 400本	栽植距離 株間 200cm 200株/10a 株元を中心に手かん水を行う。
定植		2月中旬	トラック	2	1	2		・定植時の最適地温:18°C(最低温度15°C) ・株元を中心に手かん水を行う。
かん水		2月中旬 ~8月上旬	かん水施設	1	21	21		蔓の伸び具合に合わせて灌水 する範囲を広げていく。 乾燥しないよう定期的なかん水 を行う。
誘引他	誘引 誘引柵	3月~7月		2 2	24 8	48 16		草丈1~1.5mの頃、均等に誘引 し、柵を這わせる。
温度管理	保温、換気	2月中旬 ~8月上旬		1	30	30		中トンネル開閉 午前 28~30°C 午後 25~26°C 夜間 15°C確保
管理	摘心、整枝	3月中旬 ~7月下旬		2	30	60		(摘心、誘引) ・本葉6~7枚で摘心し4本仕立 とする。 (整枝) ・20節以下の孫づるは2節で摘 心。雄花は残す。 ・過繁茂になった場合、孫づる を適宜除去し採光を良くする。
	交配、摘果			2	25	50		(人工交配) ・午前中交配、2~3回/週
病害虫防除	薬剤散布 耕種的防除	3月下旬 ~8月上旬	動力噴霧機	2	8	16		・県病害虫防除基準による ・連作障害を回避するため作付 ほ場は毎年替える。 ・重要病害虫:炭そ病、うどんこ 病、ヨトウ類類に注意する
収穫出荷		4月中旬 ~8月上旬	トラック	2	36	72		・収穫開始は25節前後から行 う。 ・樹勢維持のために収穫初期 は若どりを行う。 ・連続着果すると草勢が低下す るので注意する。
後かたづけ	ほ場環境浄 化	8月中旬	トラック トラクター	2	10	20		・連作ほ場では、ネコブセン チュウ等が発生しやすいので ほ場毎に確認する。
計						397		

4. 品目の作付体系(〇被覆、△定植、□収穫)

品目(作型)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
にがうり (半促成)	〇	△										

5. 作業別・旬別労働時間(10a当たり時間)

品目・作業/月・旬	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		計
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
定植準備			22																				2	2	26
ビニール被覆	32																								32
定植				2																					2
誘引等					8	6	6	6	6	6	4	2	2												64
交配・摘果						2	4	4	4	4	4	4	4	4											50
温度管理				2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2											30
整枝管理他					2	3	3	5	6	8	8	8	8	4	4										85
病虫害防除							2	2	2	2	2	2	2	2											16
収穫出荷										4	6	10	11	13	10	8	6	4							72
後かたづけ																20									20
計	32		22	4	2	12	13	17	19	18	20	22	24	26	30	27	31	22	18	10	4	20	2	2	397
月計	54		6	57	72	88	50	24														4			

6. 総労働時間

【購入苗利用】	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		計
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
総労働時間	96		66	12	6	36	39	51	57	54	60	66	72	78	90	81	93	66	54	30	12	60	6	6	1191
うち家族労働	96		66	12	6	36	39	51	57	54	60	66	72	78	90	81	93	66	54	30	12	60	6	6	1191
うち雇用労働																									